BERNINA 830

BERNINA 820
QUILTERS EDITION

8シリーズ - 解説とアドバイス

もっと詳しい情報を見るには： www.bernina.com

made to create BERNINA

BERNINA8シリーズをご購入頂きありがとうございます

この8シリーズは、限りないソーイングと刺しゅうの楽しさをお届けいたします。このミシンと刺しゅう機をご満足いただくには、ミシンの説明書を良くご理解頂き、ここにご紹介する各種のアドバイスなどもご利用頂き、更に、www.bernina8series.com を訪問して、あなたのインスピレーションを刺激する新しいアイデアなどもご利用ください。

ソーイングと刺しゅうに大変役に立つアドバイス

針に関して

正しい針の種類とサイズを選びましょう。
通常お使いになる糸では針のタイプとサイズは130/705 H/70-80 です。
太目の糸、またはメタリック糸等には130/705 H-SUK/90-100をお勧めします。
伸縮性のあるジャージ等には130/705 H-SUK/70-80をお使い下さい。

糸の種類に応じて、針のタイプとサイズを選んでください
• 糸が針の溝にきちんと納まるような針のサイズを選びます。• 詳しくは、ミシンの説明書の«糸と針に関する重要事項»の項をご参照ください。

二本針を使うときには
最高の仕上がりを得るには：
1. 針元糸案内に二本の上糸を通す方法は、次の通りです。最初の糸は、針元糸案内に通します（赤い矢印）、二本目の糸は、この針元糸案内には通しません(図 1)。
2. 二本針で縫うときの最適なソーイングスピードは350-500針／分です。スライドスピードコントロールを写真の位置にセットします。(写真2)
3. 天秤から出た二本の糸が絡まないように注意しましょう。上糸を見易くするために、ミシンの前面カバーを外しておきす。
一般的には: 新しい作品に取り掛かる前には針を新しいものに交換するようにしましょう。針は消耗品です。使えば使うほど針はその機能を落としてゆきます。1時間半も使うと針の表面は布との摩擦で擦り傷が一杯つきます。8時間後には、糸切れを多発し、糸ゆるみや縫い目に乱れを発生させたりします。

メタリック糸を使うときには

• まず、試し縫いをしてミシンを最適な状態にセットして下さい。• 130/705 H-SUK/90-100針の使用をお勧めします。• 自動糸切りは糸切り用の刃の磨耗を防ぐためにオフにしておきましょう。• 上糸のテンションを緩めましょう。• ミシンのスピードは抑え気味に、そして潤滑剤を使いましょう。

上糸の送り出し
特殊なタイプの糸の送り出し方は、回転方向に送り出すことです。二つの方法が示されています:

1. 小さな糸こまや緩い巻の糸こま: 糸案内土台のセパレーターを利用します。(図3)
2. 強い巻の糸や大きな糸こま（コーンタイプのもの): 糸を伸縮式の糸案内棒の周りに回して、上糸の糸道へと通して下さい。(図4)
いずれの場合も、クッションつきの回転用糸こまカバーを土台に使って下さい。コーン型の糸こまを使う場合には必ず補助糸こまサポートを使って下さい。(図5) 必要に応じて上糸潤滑装置を使いましょう。(図6) 縫い始める前に，糸こまと糸案内の間で糸がピンと張った状態にあることを確認するようにしましょう。
回転式の糸の送り出し、糸の潤滑装置、糸ガイドなどが上糸に余分な付加（テンション）を与えますので、上糸の調子を最適に合わせるようにしましょう。

糸の掛け方に関するアドバイス

• ミシンの電源をオンにしておきます。• ミシンの説明書の«上糸の掛け方»と«手動で上糸を掛ける» を参照して下さい。• 各種のアニメーションやDVDを www.bernina8series.com/US/testdrive、でご覧いただけます。

糸こまネットカバーに関するアドバイス

出来るだけ糸こまネットカバーを使うようにして、糸こまから出てくる糸が絡んで糸切れするのを防ぎましょう。
• 白いネットは大きな糸こま用です。• 赤いネットは小さな糸こま用です。• 自動糸通し機に上糸を掛ける時、針元の糸案内に糸をかけたら、糸を軽く引いてみて、糸が糸こまからスムーズに出てくることを確認して下さい。

押え金に関するアドバイス

• 必要な押えを選んでミシンにセットします。• 画面上の押え表示アイコンをタッチして取り付けた押えを画面上で選びます。
ミシンは選んだ押え金に合った設定、例えばファスナー押えNo.4では画面上のステッチ表示域を一部分グレーで表示し、針がこの部分には落ちないような設定など、を自動的に設定します。

追加情報
更に、各種のアニメーションやビデオ情報をご覧になるには:
www.bernina8series.com/US/testdrive, 説明書をよくお読みいただくか、トレーニング用のDVDもご覧ください。

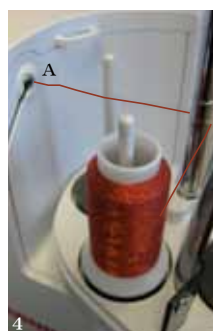
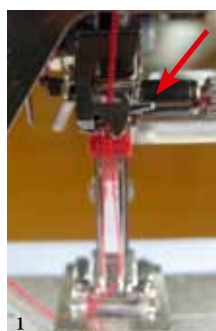
1

2

3

4

5

6

刺しゅうに関する特別なアドバイス

上糸に関するアドバイス
・実用縫いステッチ=上糸のテンションを多少強めにします（数字を大きくする）。・飾り縫いや刺しゅう=上糸テンションを多少弱めにします（数字を小さくする）。・常に上糸の特性に合わせて上糸のテンションを調整します。・コットンやポリエステル糸のような、滑り易い糸や、糸切れに強い糸では必要に応じて上糸テンションを強くします。・レーヨン糸やメタリック糸、ナイロン糸等を使う時は、必要に応じて上糸テンションを緩くします。・上糸と異なる下糸を使うときにも、上糸を調節します。

常に布地に合わせて上糸テンションを最適な状態に調節します
・厚地や硬い布地では通常上糸を強くします。・薄地、柔らかい布地等では通常上糸を緩めます。

下糸に関するアドバイス
異常な糸たるみや不揃いなステッチが発生するとき:
1. 糸掛け方法が間違っていないかを確認してください。
2. 下糸のテンションが正しくセットされているか確かめてください。
下糸の基本セッティングの位置は釜カバーの内側、及び取扱説明書の«糸のテンション»の項に説明されています。

糸の特性に合わせて下糸のテンションも調節してください
滑り易い糸や強度のある糸には: ボビンケースのテンション調節用突起を右へ1-2目盛り移動してテンションを強くします。
切れ易い糸には: ボビンケースのテンション調節用突起を左へ1-2目盛り移動して、テンションを緩めます。

糸潤滑剤に関するアドバイス
潤滑剤は布地にあとを残したりしないものを使っています。潤滑剤を含んだ糸は針と布地との接触をスムーズにし、糸切れを解消します。
・必ずベルニナの純正潤滑剤をご使用ください。

潤滑剤の必要ない糸: ポリエステル糸、コットン、ご購入から6ヶ月以内のレーヨン糸などの滑りの良い糸、表面の滑らかな糸。
潤滑剤を必要とする糸: メタリック糸、レーヨン糸、特にご購入から6ヶ月以上経った古いレーヨン糸

ご注意: 潤滑剤を使った場合、上糸テンションを多少強くする必要があるかもしれません。

ご自分で出来るお手入れの方法
・3-4個のボビンを空にするくらい縫った頃には、ボビンケースの周辺に注油しましょう。またミシンの画面に縫った針の数に従がって注油指示が表示されます。・ミシンの釜周辺の音が大きくなってきたときや、ステッチに不揃いが目立ち始めたら注油の時期です。・針板を外し、釜や送り歯周辺の糸くずや布粉を掃除します。・ミシンの説明書の«メンテナンスとトラブルシューティング»の項をご参照ください。

・刺しゅうには直線縫い用針板をご使用下さい。・目的に合った適切な刺しゅう用安定紙を必ずご使用下さい。刺しゅうを歪も無く、綺麗に仕上げるための秘訣です。・パイル地や毛足の長い布地には、ステッチが沈み込まないように水溶性安定紙を布地の表側に当てて刺しゅうします。・ミシンの説明書の«準備・刺しゅう用安定紙»の項をご参照下さい。

刺しゅうスピードに関して
・強度のある糸や単純な刺しゅうデザインを縫う時は高速にセットします。・繊細な糸を使うときや、複雑なデザインの刺しゅうには、スピードを緩めて縫います。

追加情報
もっと詳しくお知りになりたい方は、各種のアニメーションやDVD情報を次のサイトでご覧いただけます: www.bernina8series.com/US/testdrive
説明書をご一読頂き、またトレーニング用DVDをご参考にしてください。

もっと便利なベルニナのアクセサリーをお探しですか?
www.bernina.comを訪問してください。

常にミシンを最新のバージョンにアップデートするように心掛けてください
ミシンの説明書の«セットアッププログラム・アップデート»の項をご参照ください。アップデート用ソフトウエアーは: www.bernina.com/downloads で入手できます。